

ベイラー医科大学 IBM Power Systemsソリューションへ移行して 新たなITの価値を発見

ハイライト

■ 課題

高い可用性を実現して今後の成長をサポートする、エネルギー効率の優れたITインフラストラクチャーを提供すること

■ ソリューション

ベイラー医科大学の32台の既存のSunのサーバーを、IBM AIX® およびIBM PowerVM™が稼働する、IBM POWER®プロセッサを搭載した3台のIBM Power 570サーバーに統合

■ 主要なメリット

エネルギー・コストの低減、データセンターの貴重なスペースの節約、およびシステム全体で30パーセントのパフォーマンス向上を実現



テキサス州ヒューストンにあるベイラー医科大学には、ヘルスケアの進歩において全米のリーダーになるという明確な組織的使命があります。1900年に設立された同校は、医学研究および臨床サービスのパイオニアとしての名声を確立しています。現在、同校の医療スタッフは年間35万5,000人の外来患者をサポートしており、一方で研究者たちは極めて重要な医学的研究を行い、また1,500人を超える教職員が医学教育という任務を遂行しています。

「ここは特別な場所です。私たちは、教育、研究、およびヘルスケアという3つの分野で取り組みを行っています。また私たちの大学は、今日では世界最高峰の医療施設の1つとなっている、テキサス・メディカル・センターの中心に位置しています。

「IBMほど説得力があって、かつシンプルな設計のソリューションを提供してくれるベンダーは、ほかにどこもありませんでした。

またIBMの提案してくれたソリューションは、費用対効果も非常に高いものでした。」

ベイラー医科大学の
ITオペレーション・技術サービス部門担当
エグゼクティブ・ディレクター、
Al Reineking氏

このことにより、私たちの大学は常に非常に関心が高く、意欲をかき立てる存在となっています。」と、バイラー医科大学の IT オペレーション・技術サービス部門担当 エグゼクティブ・ディレクターの AI Reineking 氏は述べています。

バイラー医科大学の成功を背後で支えている IT チームは、同大学のサービスをサポートするための進化し続ける技術基盤を構築しています。最近同校が、病院を建設して医学部、研究施設、および医療施設を拡充することを決定した際に、その戦略的プランに既存のデータセンターのアップグレードが盛り込まれました。それは、新しい病院の IT 要件をサポートすることのできる基礎を築く過程において、ハードウェアのスペースの制約を緩和するとともに、耐用年数を過ぎた Sun のサーバーを入れ替えることを目的としたものでした。

バイラー医科大学は、IT 環境を仮想化して大規模な SAP のアップグレードに向けた準備を整えることが可能となる、経済的でエネルギー効率の優れた統合ソリューションを必要としていました。

まさに医師が指示したもの：

それは仮想化対応の成長し続ける

データセンター

バイラー医科大学の IT チームは、データセンターの更改プロジェクトに向けて、数々のベンダーの提案を検討しました。そしてチームは、ミッション・クリティカルなニーズに対する最善のソリューションは、IBM PowerVM が稼働する、POWER プロセッサを搭載した IBM Power 570 サーバーであるという結論に達しました。この構成は、パフォーマンス、拡張容易性、および柔軟性に対する同校のニーズを、エネルギー効率の高い形で満たします。

さらに、IBM は、既存のデータ、データベース、およびアプリケーションを、新し

い環境に首尾よく移行させるのを確実にするために必要な専門知識も備えていました。まず必要とされたのは、バイラー医科大学の SAP ERP システムへの持続的なアクセスを維持するとともに、大規模な SAP のアップグレードに向けた準備をすることでした。また同校は、移行の間に、電子医療記録システムおよび患者管理システム(医療費請求やスケジューリング機能を含む)はもとより、研究施設、助成金管理、および e-メールをサポートするシステムに対しても、高い可用性を提供しなければなりませんでした。

「私たちは、これらすべての任務をサポートするためのインフラストラクチャーに対して責任を負っており、このことを極めて重大なことと受け止めています。私たちは、パートナーシップについて考えるとき、常にお客様へ最高のサービスを提供したいと考える私たちの理念と同じ考え方を持つ企業かどうかを判断基準の1つとしています。私たちは、非常に献身的で、私たちのビジネスを理解してくれて、なおかつ私たちの行っていることに関して私たちと同じくらい熱心かつ真剣に取り組んでくれるパートナーを探します。それが、私たちが IBM を選んだ数々の理由の1つです。私たちは、IBM が私たちの方向性と一致していると感じたのです。」と、バイラー医科大学の IT 部門担当バイス・プレジデントで最高情報責任者も務める Jenifer Jarriel 氏は述べています。

IBM Migration Factory が、異なるプラットフォームへの移行に伴う労力とリスクを解消

バイラー医科大学は、ヒューストンに拠点を置く IBM プレミア・ビジネス・パートナーの Mark III に、同校の IBM への移行に対する支援を求めました。Mark III は IBM Migration Factory を参加させて、32 台の既存の Sun のサーバーから、いずれも AIX オペレーティング・システムが稼働するわずか 3 台の IBM Power 570

サーバーへ、ワークロードをあたかも同じシステムを使用し続けているかのように移行させました。

「IBM Migration Factory は、設計、青写真、および実装や移行の全体を通して、最初から最後まで協力してくれます。私たちは、放任されているような感じは一切受けませんでした。IBM チームとの間には関係を構築する機会が数多くあり、その中で私たちは、移行プロセスを極めて効果的かつ効率的に完遂することができました。」と、ベイラー医科大学のエンタープライズ・サービスおよび情報システム部門担当ディレクターの Mike Layton 氏は語っています。

Al Reineking 氏も同意しています。「重要なポイントでは、IBM Migration Factory が、何の問題もなく自ら明言した通りのことをやってくれました。彼らは、非常に複雑なソフトウェア・アプリケーションを、あるハードウェア・プラットフォームから新しいプラットフォームへと移行させることに伴う労力と、さらに重要なことにリスクまで取り除いてくれました。実際には、Sun サーバーからの移行は極めて簡単なことでした。」

Layton 氏は、統合によって即座に測定可能なメリットがもたらされたと述べています。「SAP 環境のラック・スペースと比べて占有スペースが 60 パーセント削減され、また冷却費およびエネルギー・コストの双方が 40 パーセント以上節減されました。」

透過的な実装と劇的なパフォーマンス向上により、ベイラー医科大学はクライアントのニーズを満たすことが可能

「最も重要であったことは、システムを成功裏に構築し、稼働させることでした。そして私たちが新しいシステムに移行したその瞬間からすべてが完璧に機能しました。私たちのお客様は、システムを移行し

たことにまったく気づきませんでした。これは、私たちの成功の重要な評価基準の 1 つでした。」と、ベイラー医科大学の SAP サポート・サービス部門担当ディレクターの Nancy Dillow 氏は述べています。

さらに、2008 年には、「グスタフ」と「アイク」という 2 つのハリケーンがヒューストン地区を襲いました。ベイラー医科大学では、医療センターの 9,500 人の職員が、ハリケーンによる強制避難命令が発令される前に確実に給与支払小切手を受け取れるようにするために、予定外の給与計算プロセスを実施する必要がありました。新しい Power ソリューションは、給与計算処理をわずか 4 時間で完了することでその能力を実証しました。これは、それまでの UNIX® システムと比べて、213 パーセントという目覚ましい向上でした。

「以前の Sun のシステムだったら、決してそんなことはできなかったでしょう」と Mike Layton 氏は強調しています。

IBM は最適化された費用対効果の高いソリューションを提供

既存の Sun サーバーを 3 台の Power Systems™ に統合するとともに、一連の重要なアプリケーションを効率的に仮想化することにより、ベイラー医科大学では、データセンターの占有スペースを 8 ラックから 3 ラックに削減することができました。さらに、同校は、新しい 3 台のサーバーの管理および保守の方が、32 台のサーバーの管理および保守よりも非常に簡単であることにも気づいています。ハードウェアの管理および保守に費やされるリソースが削減されたことにより、同校では、新設の病院に対応するために IT サービスを拡張する準備などといった、より価値の高いプロジェクトに労力を集中させることができるようになっています。

ミッション・クリティカルな 1 日 24 時間週 7 日にわたる IT インフラストラクチャーの稼働

ソリューション・コンポーネント

IBM ハードウェア

- IBM Power 570
-



がかかっていたため、ペイラー医科大学は、新しいソリューションを導入することにより、その膨大なお客様に、24時間休むことなくサービスを提供し続けることができるようになることを確認する必要がありました。IBM ソリューションは、フォールト・トレランスと高度な冗長性を提供して、インフラストラクチャーにおける単一障害点を最小限に抑えるのに役立ちます。またこのソリューションにより、処理要件の変化に対応するのに役立つ Capacity on Demand (CoD) も可能になります。

「IBM ほど説得力があって、なおかつシンプルで設計のソリューションを提供してくれるベンダーは、ほかにどこもありませんでした。また IBM の提案してくれたソリューションは、費用対効果も非常に高いものでした。」と Al Reineking 氏は述べています。

「私は、自分たちが使用しているリソースとその効率性に、これまでと比べ、非常に満足しています。そして私たちは引き続きその方向に向かって邁進していくつもりです。また、占有スペースを最小限に抑えるとともに、仮想化によってもたらされ得るあらゆるメリットを獲得することを考えていきます。」と Jenifer Jarriel 氏は補足しています。

詳細情報

お客様担当の IBM 営業担当員か、または IBM ビジネス・パートナーまでご連絡ください。あるいは、以下の当社 Web サイトにアクセスください。

ibm.com/systems/jp/migratetoibm/factory

ibm.com/systems/jp/power

© Copyright IBM Corporation 2009

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21
<http://www.ibm.com/jp/>

December 2009
All rights reserved.

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、AIX、POWER、Power、Power Systems、および PowerVM は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

このカタログの情報は 2009 年 12 月現在のものです。製品、サービス等詳細については、弊社もしくは IBM ビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。

当カタログに記載のデータは、すべての場合において同等の効果が得られることを意味するものではありません。効果はお客様の環境、その他の要因によって異なります。

掲載されている製品・サービスは IBM がビジネスを行っているすべての国・地域でご提供可能なわけではありません。また国・地域によってはご提供条件が異なる場合がございます。詳細は各国 IBM にお問い合わせください。

掲載された情報は 2009 年 12 月現在のものです。事前の予告なく変更する場合があります。